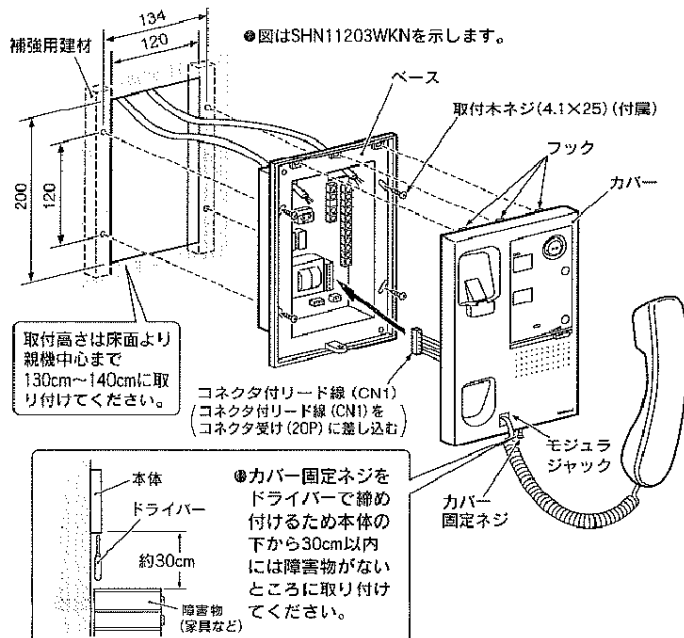


取付方法

●コネクタを接続するときは電源(専用ブレーカーAC100V)および警報監視盤の電源を切った状態で接続してください。電源を切らないと、故障の原因となります。

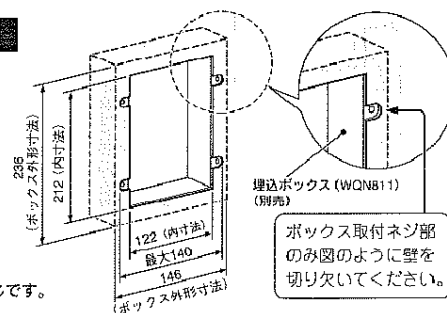
ボックスなし取付の場合

1. 壁面に下記寸法の穴をあけ、取付補強用建材を取り付ける。
2. カバー固定ネジをゆるめ、カバーを開ける。
3. コネクタ付リード線(CN1)をはずし、カバーとベースを分離する。
4. ベースに電線を入線後、付属の取付木ネジ(4.1×25)4本で壁面に固定する。
5. 配線工事をする。(配線方法を参照してください。)
6. カバーのコネクタ付リード線(CN1)を、ベースのコネクタ受け(20P)に差し込む。
7. カバー上部のフックをベースに引っ掛け、カバーをカバー固定ネジで固定する。



ボックス取付の場合

- 安全のため、埋込ボックスはD種(第三種)接地工事をしてください。(接地抵抗100Ω以下)
- AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
- ベースを取付ネジ(M4×25)4本でボックスに固定してください。そのほかはボックスなし取付と同じです。



- ユニット寸法はボックス外形寸法より上下左右2mmの余裕となっています。壁面加工時は十分注意してください。

ヒューズの交換方法(ベースの中にあります。)

① ヒューズ交換はカバーをはずして行ってください。

交換ヒューズ

定 格: AC125V 1A

サイズ: 20mm φ5

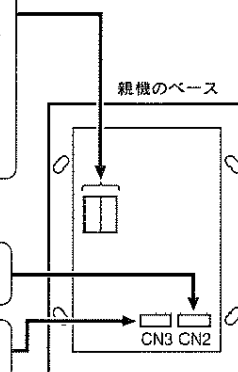
溶断特性: B種(普通型)

警告

ヒューズ交換は電源(専用ブレーカーAC100V)および警報監視盤の電源を切った状態で行ってください。電源を切らないと、感電の原因となります。

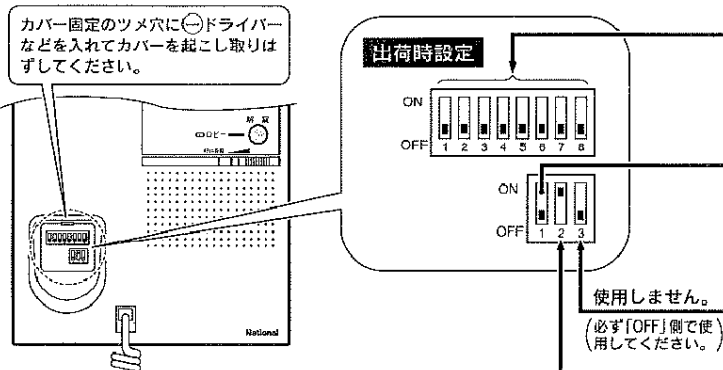
コネクタへの接続

- モニターテレビ接続用コネクタ(CN2)
- モニターテレビユニットを接続する場合に使用します。
- 代表移報出力を接続する場合に使用します。
- 代表移報接続用コネクタ(CN3)



機能設定

●機能設定時は電源(専用ブレーカーAC100V)および警報監視盤の電源を切った状態で行ってください。正しくデータ登録ができないため、正常な動作をしない場合があります。



ガス機器異常警報機能の設定(スイッチ2)

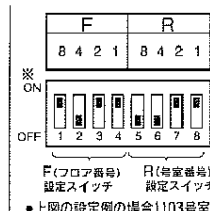
- ONのとき: ガス機器異常(断線およびガスもれ警報器取りはずし)が発生しても、警報しません。
- OFFのとき: ガス機器異常(断線およびガスもれ警報器取りはずし)が発生したとき、警報します。

項目	親機	増設スピーカ	警報表示付ドアホン子器	管理室移報
ガス機器異常	ガス灯	警報音	警報音	警報音
設定スイッチ2	OFF	有	点灯	ビー
	ON	無	消灯	—

※ガスもれ警報は設定の有無にかかわらず出力されます。

住戸番号の設定方法(スイッチ1~8)

- 1) F(フロア番号)設定スイッチで1~15階までのフロア番号を設定する。
- 2) R(号室番号)設定スイッチで1~15号室までの号室番号を設定する。
- 3) 警報監視盤の電源を入れる。電源を入れた後、警報監視盤側で設定する。
- 4) 1), 2)で設定されたインターホン(住戸)がロビーインターホンおよび警報監視盤に登録される。
- 5) 住戸番号の設定を確認する。



① 住戸を呼び出したとき、ロビーインターホンおよび警報監視盤の呼出住戸番号が消灯する場合は再度設定し直すか、または配線を確認してください。

15階または1フロアが15号室を超えるとさの設定方法(スイッチ1、ペーン設定スイッチ)

- 住戸番号を設定し、「ON」側にする。

② 警報監視盤の設定が必要です。

●警報監視盤側で「Aパターン」に設定されている場合

●上図の※の住戸番号は…「1103号室」→「1118号室」(03+15)

●警報監視盤側で「Bパターン」に設定されている場合

●上図の※の住戸番号は…「1103号室」→「2603号室」(11+15)

施工後の動作確認方法

- 結線終了後、ガスもれ警報器の電源が入っていることを確認して、取扱説明書にしたがって動作の確認を行ってください。

異常時の点検

- ガス機器異常が復旧できない場合: ガスもれ警報器の電源が入っているか確認してください。